

1月18日：大型株が軒並み安となり、ベトナム株は揉み合う展開に

利益確定売りに押された大型株が軒並み下げ、月曜日のベトナム株は揉み合う展開になった。

ホーチミン市場の主要指標のVN指数は0.19%安の1,191.94ポイントで引けた。

売買高は約7億4,740万株、売買代金は17兆ドン（7億3,350万USドル）だった。

売り買い拮抗し、値上がりは273、値下がりは201銘柄だった。

大型株に連動するVN30指数は0.75%安の1,173.34ポイントだった。

VN30指数構成銘柄のうち、19銘柄が下落し、11銘柄が上昇した。

エクシムバンク（EIB）、サコムバンク（STB）、HDバンク（HDB）、ベトインバンク（CTG）、VPバンク（VPB）、軍隊商業銀行（MBB）といった銀行株は、どれも2%以上売られ、下げを主導した。

テクコムバンク（TCB）、SSI証券（SSI）、ノブランド不動産投資グループ（NVL）、モバイル・ワールド・インベストメント（MWG）、ペトロベトナム・ガス（GAS）、カンディエン不動産（KDH）は1%を超える下げに苦しんだ。

その反面、FLCファロス建設（ROS）は7%高と最も上昇し、タインタインコンソービエンホア（SBT）も5%以上の反発、ペトロベトナムパワー（POW）とマッサングループ（MSN）が共に2%高、ビンコム・リテール（VRE）とフォーニュアン・ジュエリー（PNJ）は共に1%高となった。

「朝方、VN指数はすぐに1,200ポイント手前に上昇したが、上昇の勢いは利益確定売りを受け、次第に弱まった。同指数の終値は依然として1,190ポイントを超えている」（BIDV証券）

「外国人投資家は引き続き、両市場（ホーチミン、ハノイ市場）で売り越した。さらに、そして売買高は前日比であまり変わらなかった。我々の見方では長期間の大幅上昇の後、今週VN指数は下落するかもしれない」（BIDV証券）

外国人投資家は、ホーチミン市場で5,579億2,000万ドンを売り越し、そのうちホアファットグループ (HPG) 3,711億ドン、SSI証券 (SSI) 785億ドン、ビンホームズ (VHM) 608億ドンだった。ハノイ市場では売買代金で437億4,000万ドンを売り越した。

セクター別では全25業種中、保険、小売、エネルギー、証券、IT、銀行、農業、運輸といった10業種が下落。

一方、上昇セクターは食品飲料、ゴム製品、水産加工、卸売、不動産、ヘルスケア、建材、建設。

ハノイ市場では、HNX指数が2.24%高の230.50ポイントだった。

売買高は1億5,800万株以上で、売買代金は2兆4,000億ドンだった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。